

「まなびの広場」は那須教育事務所ホームページに掲載されます。
http://www.pref.tochigi.lg.jp/m56/system/desaki/desaki/nasu-kyouiku01.html

毎月第3日曜日は「家庭の日」

地域とともにあゆむ資料館

栃木県立なす風土記の丘資料館湯津上館が「大田原市なす風土記の丘湯津上資料館」と名前を変え、新たに生まれ変わりました。

大田原市は、笠石神社のご神体として親しまれている国宝の那須国造碑や国指定史跡の上・下侍塚古墳を保持しており、貴重な文化財の宝庫でもあります。また、那須連山や八溝山地、那珂川や箒川に囲まれ、豊かな文化風土が作り上げられました。

今後は、那珂川町の県立なす風土記の丘資料館と連携しながら、那須地域の古代文化及び民俗文化の調査保存を中心に、地域連携や世代間交流を図り、地域とともにあゆむ文化施設を目指します。

なお、9月22日(土)～11月25日(日)まで「那須の縄文社会が変わるころ」と題して、特別展を行います。関東文化と東北文化の混在地域にあった那須地域の特性が浮かび上がる企画です。

ぜひ、ご来館ください。

大田原市なす風土記の丘
湯津上資料館

TEL 0287-98-3322
FAX 0287-98-3323



～子どもたちの笑顔あふれる日～第10回なすまち子どもフェスティバル

「子どもたちによる子どもたちのためのお祭り」という思いから、那須町では毎年夏に“子どもフェスティバル”を開催しております。

今年は記念の10回目を迎えるということで、“子どもスタッフ”や“那須町JLC(ジュニアリーダースクラブ)”が自主的に準備や当日の運営にも加わり、スタンプリーのスタンプやステージ発表用の表示、当日のプログラムの表紙絵等を自分たちで作成しました。子どもたちの自由な発想は来場者を楽しませてくれました。子どもスタッフとして参加した小学生の女の子は、「もっともっとお祭りをやって良かった!」と猛暑の中でしたが、元気いっぱい楽しんでいました。

また、那須高等学校の協力により、当日の運営だけでなく、那須町PRソングの発表や那須かるたとり選手権等が行われ、様々な世代間交流の機会となりました。

那須町では、今後も子どもたちにとって有意義な活動になる事業を推進していきます。



Boys & Girls be ambitious! (少年少女よ、大志を抱け!)

7月30日(月)～8月3日(金)の5日間、那須塩原市内の小学6年生80人が、北海道への船旅「洋上北海道学習」に行ってきました。子どもたちは、日ごろ経験できない船内での生活をしたり、北海道の歴史・文化、雄大な自然を肌で感じたりしながら、様々な体験をして、ひと回り大きく成長してきました。

参加した児童のひとり、「違う学校の友達もたくさんでたし、すごく楽しかった。小学校最後の年にとって心に残る思い出ができました。」と話していました。

他にも「行くのを待っている時は長く感じたけど、いざ行ったら5日間はすごく短かった。」「仲良くなったみんなと離れるのは少し寂しい。」「夏休みが明けたら、学校の友達にお話ししたい。」などの声が上がっていました。

楽しい思い出を胸に、子どもたちがこの船旅で築いた仲間との絆や経験を生かし、様々な場面で活躍することを期待しています。

「Boys & Girls be ambitious!」



家読(うちどく)のすすめ

栃木県教育委員会では、とちぎ教育振興ビジョン(三期計画)の施策の一つとして、「読書活動の推進」を掲げております。

現在、学校での一斉読書や読み聞かせなどにより、読書活動の広がりがみられますが、学齢が上がるにつれて読書量が少なくなる傾向がみられます。それを改善する一つの方法として、栃木県教育委員会では、家読(うちどく)を推進しています。

家読とは、家族で読んだ本について話し合ったり、好きな本を紹介し合ったりするなど、読書習慣を共有し、コミュニケーションを図ることで、読書活動の活性化と家族の絆を強める取組です。

7月25日に行われた那須地区PTA指導者研修Iでは、家読推進プロジェクト代表の佐川二亮氏から、家読についての講話をいただいた後、分科会で、家読を始めるための方法を話し合いました。

それらの意見を「家読を始める73の方法」としてまとめましたので、ぜひ那須教育事務所HPを御覧ください。

